

# 令和6年度 学校経営構想

尾道市立因島南中学校

## 1 因島南中学校について

- ・平成22年度 開校（土生中学校・三庄中学校・田熊中学校の3校が統合）開校15年目
- ・平成27年度 因島南小学校が開校（土生小学校・三庄小学校・田熊小学校の3校が統合）

## 2 尾道市について

- ・平成29年度から、新たな「尾道教育総合推進計画」（5年間；H29～H33）実施
- ・「尾道教育総合推進計画」の学校教育関係；「尾道教育みらいプラン2」
- ・「尾道教育みらいプラン3」  
『夢と志を抱き、グローバル社会を生き抜く子供の育成』  
(「よりグローバルに」、「より深化を」、「より社会に開く」)
- ・尾道教育総合推進計画（令和4年～8年）

## 3 尾道市教育委員会からの『スクールミッション』（尾道市教育委員会として期待すること）

- 「オール因島南」で取り組む  
地域に誇れる学校づくりの実現

## 4 因島南中学校が目指すところ

【ミッション】（地域・社会における自校の使命・存在意義）

- 「地域に誇れる学校づくり」  
～地域からの期待に応え、期待を超える学校づくりを～

<コンセプト；地域の活力を、学校から発信（学校が地域を元気にする）>

【ビジョン】（ミッションの追究を通して実現しようとする学校の将来像・目指す姿）

- オール因島南（学校・家庭・地域）で、連携・協働し、生徒を育む学校
- 学校・地域（ふるさと）を誇り、自分の生き方を見つめ直すことに繋げる学校
- 社会の変化に対応し、向上心を持ち、思いを実行に移せる学校

< 学校の特色のキーワード >

- 『ふるさと学』（ふるさとを見つめ、考え、自分の生き方を見つめ直す）
- 『プラス・ワン』（今の自分をしっかり見つめ、常に、一歩上、半歩上を目指す）
- 『地域に誇れる学校』（オール因島南で育て、学校も地域も元気にする）

## 【スクール モットー 「校訓】】

- 心を磨き、体を鍛え、世界をめざす

（校歌の歌詞に込められた「めざす姿」）

<【ビジョン・校訓】として位置付け>

## 【生徒に育成したい資質・能力】

- 「基礎・基本」の力（実際の社会や生活で生きて働く力）
- 思考力・表現力・対応力（未知状況や新しい状況において）
- 高い志とチャレンジ精神（学びを生かす力）

## 5 学校教育目標について

社会で通用する基礎・基本を磨き、  
よりより自分・学校・社会を目指す生徒の育成

- 目指すものは、教育基本法の「教育の目的」である**「人格の完成」**  
(「生きる力」を 今の学校生活だけでなく、将来を見据えて子供達の未来に責任を持つ)
- **「社会で通用する基礎・基本を磨き」**
  - ・ 義務教育の最終段階として、社会で通用する「基礎・基本」をしっかりと身につけさせ、新たなステージに立たせる責任がある
  - ・ 社会で通用する「基礎・基本」とは  
「学力」のみならず、「社会性」、「コミュニケーション力」、「人を思いやる心」、「道徳性」、「規範意識」、「礼儀・マナー」、「向上心」、「健康」「体力・運動能力」など、「学習面」「生活面」において、「生きてはたらく確かな力」の「基礎・基本」  
⇒ 学校のみならず、家庭・地域と協働して、確実に身につけさせる。  
プラス・ワン感覚を持ち、上をめざす。
- <育成したい資質・能力> 「基礎・基本」の力  
        「思考力・表現力・対応力」  
(深く考える・しっかりと表現する・未知の状況や新しい状況において力を発揮する)
- **「よりよい自分・学校・社会を目指そうとする」**
  - ・ 自分自身を見つめる　学校を見つめる　社会を見つめる
  - ・ 自分にできることは何か　自分のすべきことは何か　そのために自分は…　を考える
  - ・ よりより自分をめざす　よりより学校をめざす　よりより社会をめざす  
(⇒「プラス・ワン」を、どう「意識」させ、どう「実行」させるか)
  - ・ 新たな状況や変化に対応する力⇒　変化の中で変える姿・変わらず持ち続ける姿
- ◆ **「よりよい自分」**
  - ・ 「まあ、これぐらいでよし」ではなく、更によりよい自分を目指し、向上心を持って努力することを目指す。(主に「プラス・ワン」をしっかりと自覚し、実行する生徒に)
- ◆ **「よりよい学校」**
  - ・ 自分だけでなく、友達を大切にし、まわりを大切にしながら、話し合い、高め合い、自分達の学校を、まわりのみんなと力を合わせ、よりよい学校にすることを目指す。  
(愛校心、誇りづくり)
- ◆ **「よりよい社会」**
  - ・ 「ふるさと学」を中心据えながら、自分達のふるさと因島を、よりよいものにしようと考え、提案していく(総合的な学習の時間「ふるさと学」等の充実)。
  - ・ ふるさと因島のみならず、広く社会に対しても目を向け、自分達でよりよい社会を築き上げようと、社会に貢献し、よりよい社会をみんなで力をあわせて作り出そうとする。
- <育成したい資質・能力> 「高い志とチャレンジ精神」  
        「思考力・表現力・対応力」  
(深く考える・しっかりと表現する・未知の状況や新しい状況において力を発揮する)

## 【スクール・スローガン】

自ら起点となり、本気・誠実・心根 温かくあれ そして 本物たれ  
～Be ambitious～

⇒ 「めざす生徒像」「めざす教職員像」へ

### 6 今年度、特に意識していくことについて

#### (1) 「自分も起点」という位置に立ち、協働して取り組む！

○傍観者（批評家）にならない！課題を解決することに追われる組織の一員にならない。課題をシステムとして捉え自分もその問題に加担している（一部を担っている）という位置に立ち、自分のあり方（Being）からその問題自体に変化を与える。

#### (2) 生徒にとって学校生活の中心は授業！

○授業が最大の生徒指導の場というに認識を持ち、授業に生徒指導の三機能を（自己存在感・自己決定・共感的人間関係）生かす。  
○そのために、授業改善・授業研究を進める。（授業のうまい教員に！）  
※詳細は別途

#### (3) 取組・課題には、「なぜ？」と「ゴールイメージ」を持って！

○取組を行うことで、どんな力をつけたいのか？どのような姿を目指しているのかを明確にして取り組む。（その熱量が生徒に伝わる。）  
(ただの前年度踏襲は×)

#### (4) 教職員自身の向上心と指導力の向上・協働と気遣い

○向上心を持ち、新しい事に挑戦し、指導力の向上を目指す  
(タブレットと板書の有効活用・ミッションの質の向上)  
○役割分担の明確化と他職員への気遣い

### 【継続すること】

#### (1) 行事・生徒会活動を充実させるべく指導に臨む！

○「生徒会活動」が停滞・衰退すれば、「学校が沈む」という強い危機感を持って、生徒会活動に力を入れ、生徒達を指導し、育て、生徒の自治の力による活力ある学校を目指す！

#### (2) 生徒指導は「総力戦」という意識を持って全員で臨む！

○「マンパワー」ではなく、「チーム力」「総力戦」の意識を持つ。  
「あれはあの学年のこと」にではなく、いかに自分の学校のこととして捉え、自分事として動くかが重要となる。  
それぞれの「持ち味」を活かし、全員で関わりきる！

## 【指導方針】

### 「鍛え」「伸ばし」そして「心に寄り添う」指導を！

- 「指導」のないところに、生徒の成長はない！
  - ・生徒は、「指導」を待っている！
  - ・「粘り強く」；100回ダメなら101回やり返す！
  - ・「生徒は必ず成長する」と「信じる」！
  
- 生徒に、「本気」で「向き合う」！
  - ・生徒に、「本気」で「愛情」を傾ける（「甘やかす」ことでは決してない）
  - ・生徒の「思い」に、「心」に、「寄り添う」（「粘り強く」）
  - ・生徒のこれから「人生の幸せ」を真剣に考える

### 繰り返さないための指導！

- 原因を探る。今後の姿を明確にする。
  - ・事後指導のマニュアルづくり。（生徒指導部）
  - ・あきらめない

### 学力を伸ばし、仲間を大切にする学校を創るために！

○→2つの宣言 「学校は、学力を伸ばす場」です。  
「学校は、仲間を大切にし、正しい関わりを学ぶ場」です。

### 「高め合う仲間」…高め合う生徒、高め合う教職員

## 【確認事項・検討事項】

- 入退校時間 入校時間 7:30（厳守） 退校時間（〇〇時）
- 土日の入校⇒ 管理職に許可を得る
- 組織の報告ラインの確認 ⇒学年主任を中心とした取組と報告
- 地域・保護者の信頼構築
- 文書管理・個人情報管理（不祥事防止）
- 会計処理…適正な処理と誰でもできる会計
- 不登校生徒対応…心と学習の両面からの支援
- 教育相談室のゴーリイメージ（不登校生の対応）
- ICT活用（1）…電子黒板の活用・板書との効果的な併用
- ICT活用（2）…生徒タブレット使用授業 ⇒ 50%以上
- ふるさと学の整理…1年生（地域の自然・歴史・文化）
  - 2年生（地域の産業・職場体験）
  - 3年生（自らの進路調べ・選択・決定）
- スクラップ&ビルト…職員と考える「働き方改革」スクラップ&ビルト
- 役割分担を明確にした上で、周りへの配慮を…分掌の役割分担と精選
- 昼食指導は、全員で！